

佐井中学校野球部 “キャッチボールクラシック2018全国大会”に出場

キャッチボールの正確さとスピードを競う「キャッチボールクラシック2018全国大会」が12月9日(日)石川県小松市「こまつドーム」で行われました。

佐井中学校野球部は青森県大会2位の成績で出場権を獲得。全国から勝ち抜いた強豪校を相手に奮闘しましたが、惜しくも予選敗退という結果でした。『全国の壁は厚かった。いろいろ学ぶことがあったし自信がついた』と選手たちのコメント。

今回の出場にあたり佐井村内外からの沢山のご支援・ご声援に深く感謝申し上げます。

【佐井中学校野球部保護者会】



1チーム9人。7mの距離で2分間での回数を競う



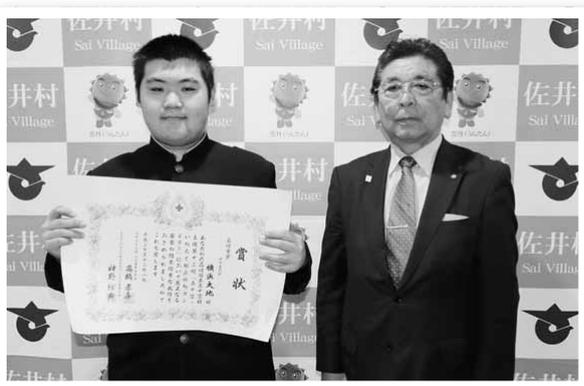
ソフトバンク高橋選手、広島カープ坂倉選手と撮影

佐井村初の青年海外協力隊員工藤 彩さんが村長を表敬訪問

国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員として、平成31年1月から2年間派遣されることになった工藤 彩さんが12月19日(水)、役場に樋口村長を訪ね、派遣にあたっての抱負を述べました。

工藤さんは、アフリカのブルキナファソに派遣され、保育士の経験を生かし、幼児教育の支援を行うそうです。「これまでの経験を生かし、遊びを通じて現地の子どもたちと接していきたい。」と抱負を述べていました。

村長から「現地では体調管理に留意し、地域のためこれまでの経験を役立ててほしい。」と激励の言葉と、村から激励金が手渡されました。



日本赤十字社 赤十字・命と献血俳句コンテスト

12月8日(土)、東京の日本赤十字社本社で、第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテストの表彰式が行われ、中学生の部最優秀賞を受賞した、佐井中学校3年横浜太地くんが出席しました。また、12月20日(木)、村長に受賞を報告しました。

入賞作品

「両親に 百まで生きろと 願う春」